



記者配布資料

平成29年1月26日

大阪経済記者クラブ会員各位

商店街フォーラム・大阪 生き残りをかけて商店街活性化！ ～人口減少と訪日外国人4千万人時代へ～多様化するインバウンド客を取り込み！ の開催について

【お問合せ先】大阪商工会議所 流通・サービス産業部
流通担当（小西・大石）
Tel：06-6944-6440
26日のみ Tel：090-5151-8004

- 大阪商工会議所 流通活性化委員会（委員長：山本博史・(株)小倉屋山本社長）は、3月24日（金）、「商店街・賑わいプロジェクト」事業の一環として、商店街フォーラム・大阪「生き残りをかけて商店街活性化！～人口減少と訪日外国人4千万人時代へ～多様化するインバウンド客を取り込み！」を開催する。
- 同フォーラムは3部構成。第1部では、流通科学大学田中准教授が、今後30年間の商店街の客層変化や消費行動について講演する。また、インバウンド客を取り込むことで、一時は減少していた商店街への来場者数を飛躍的に増加させた大阪ミナミの黒門市場商店街振興組合理事長が、その戦略と成功の軌跡について講演する。
- 第2部では、「外国人からみた“SHOTENGAI”留学生モニターが行く！」と題して、各国の留学生が日本の近隣型商店街（駒川商店街）で買い物し、外国人目線で買い物体験を語る様子を映像で取り上げる。さらに、個人旅行の外国人で賑わう商店街近隣に出来た「ゲストハウス」の様子も紹介する。
- 第3部では、「地域商店街とショッピングツーリズム」をキーワードに、インバウンドの恩恵を広く大阪全域に広げていくために何をすべきかについて、パネルディスカッションを行う。パネリストには、先進的なメディア戦略によって、国内外からの観光客を集める戸越銀座商店街（東京都品川区）や、伝統行事に外国人宿泊客を参加させるなど地域連携型の経営を進める(株)宿場 JAPAN（東京都品川区）、海外からの閲覧が月間100万人にのぼる訪日外国人向けWEBメディアMATCHA、昨年少小企業庁が主催する「はばたく商店街30選」に選出され、インバウンド集客にも関心を持つ駒川商店街（大阪市東住吉区）の代表らを招く。

以上

<添付資料>

- ・資料1 商店街フォーラム・大阪 開催概要
- ・同フォーラムPRリーフレット

商店街フォーラム・大阪 生き残りをかけて商店街活性化！ ～人口減少と訪日外国人4千万人時代へ～ 多様化するインバウンド客を取り込め！

《開催概要》

1. 内 容： 商店街の客層の変化やその消費行動についての情報や予測を提供すると共に、大阪市内でインバウンド戦略に取り組む商店街とその活動を紹介する。また、実際に外国人に商店街で買い物体験をさせ、外国人ならではの視点から商店街の魅力を再発見する。さらに、インバウンド客に関わる各方面の代表者らを招き、地域商店街のショッピングツーリズムのあり方について議論を行う。
2. 日 時： 平成29年3月24日（金）午後2時～同4時45分
3. 構 成： （主催）大阪商工会議所（後援）大阪府、大阪市、大阪観光局
（協力）大阪府商店街振興組合連合会、大阪市商店会総連盟、一般社団法人大阪中小企業診断士会
4. 場 所： 大阪商工会議所 7階 国際会議ホール
5. 参 加： 無料（定員400名、申込先着順）
6. 次 第：
 - 14：00— 開会挨拶 大阪商工会議所 副会頭 小嶋 淳史
事業概要説明 大阪商工会議所 流通活性化委員長 山本 博史
 - 14：15 **【第1部】近未来の消費者像とインバウンド戦略**
講 演 流通科学大学商学部 准教授 田中 康仁氏
黒門市場商店街振興組合 理事長 山本 善規氏
 - 15：05— **【第2部】外国人から見た“SHOTENGAI”留学生モニターが行く！**
映 像 4人の外国人留学生在が駒川商店街（大阪市東住吉区）で買い物体験。
 - 15：35— 休 憩
 - 15：45— **【第3部】地域商店街とショッピングツーリズムとは**
パネルディスカッション
（パネリスト）
 - ・(株)U-Design（戸越銀座商店街メディア戦略担当）
専務取締役 竹地 直記氏
 - ・(株)宿場JAPAN 代表 渡邊 崇志氏
 - ・(株)MATCHA 代表取締役社長 青木 優氏
 - ・駒川商店街振興組合 理事長 名和 安将氏
 （コーディネーター）
流通科学大学商学部 特別教授 石原 武政氏
 - 16：45— 閉 会